



発行元: iP-U事務局 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学 TEL028-649-5411 URL <http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/iP-U/>

自分に必要な英語を iP-U で身につける

iP-U が重要視する5つの基盤的能力に「共創的コミュニケーション力」があります。具体的には、受講生が自分の研究に必要なことを「英語で協力依頼できるようになる」力を指します。

たとえば、才能育成プランでは、受講生が指導教員と一緒に海外に行き、そこで採集したウイルスや化石などのサンプルを帰国後に調べるテーマがあります。この際に受講生は、自分の研究に必要なことを英語で現地の協力者に依頼し、タスクを達成することが求められます。

また、今年は海外の学会でオンライン発表することがありました。通常の学会では、受講生は指導教員や大学生と一緒に参加しますが、オンラインの場合は自宅から一人での参加です。英語で行う発表に対して、チャットに書き込まれる質問は英語、回答も自分で考えて英文で送信します。同じテーマに取り組む他の研究者の発表の際には、自分の研究のために必要なことを英語で質問することも大切になってきます。

このように、英語を使ってコミュニケーションをはかることができ、自分の研究に人を巻き込んでいくことは、研究やビジョンを実現するために必要なことなのです。

iP-U では、このスキルの育成のため、宇都宮大学基盤教育英語プログラム(EPUU)のネイティブ教員のサポートの下、受講生が

- ①外国人と接することに抵抗がなくなり、それを楽しむ
- ②コミュニケーションの基礎技術（傾聴、質問）を使う
- ③自分の考えを英語や日本語で伝えようとする

強い意欲をもつ

ことを目的に、基盤プランでは「必修科目：グローバル・コミュニケーション」と「選択科目 B：Ec Lab」を開講しています。才能育成プランの「Advanced ECLab」では、自分の研究に必要な英語をより主体的に学びます。

今年度はオンライン授業のため、相手とコミュニケーションを取るためには、相手の言おうとしていることを聞く姿勢や、自分の言いたいことを諦めずに伝える努力、相槌やハンドサイン（ピースやグッドなど）が欠かせません。今年状況をチャンスと捉えて、iP-U での授業で「英語力+コミュニケーション力」を一気に身につけましょう。



9月前半の予定

5日(土)

デザイン力実践講座 I

プレゼン力養成講座①

海洋プランクトンから

進化を探る③・④

6日(日)

EC Lab③

SDGs 時代における社会形成

基盤としての土壌の役割を

研究・発信しよう③

7・8月のリフレクションシートから

7・8月のみなさんのリフレクションシートを紹介します

普段は、課題を解決するために研究するという考え方をしているので、課題をどうビジネスに繋げるかという考え方が新鮮だった。今日の起業の考え方を身につけることで、研究がもっと深まっていくのではないかと思った。

起業家 RPG～会社を作ろう～

理科の先生に「理科はどの分野も繋がっているから、どの分野も満遍なく勉強することが必要」と言われる意味がわかった。自分の極めたい分野には、他の分野の知識や研究も関わりがあるということ、今日の授業でより身近に実感できて嬉しかった。

光るクラゲの光るワケ

科学と社会の関わり合いについて、科学者と市民との互いの理解が重要だということを知りやすく説明してもらった。間接的に役立つ科学の必要性、どう社会と混じり合っていけばよいのか、たくさんの知識を得て考えていきたい。

天文学研究の最先端

「肌×寿命」という研究の話を聞き、色に興味を持っている自分は、「色×〇〇」のような2つの意外なものを組み合わせる研究もあるのでは?と思った。実際に、色の研究にどのようなものがあるのか調べてみようと思った。

10代からのアンチエイジング・美肌科学

イメージングの先端技術である透明化技術や染色技術など、今の科学の凄さに驚いた。ノーベル賞を受賞した下村修先生の発見が副産物的に生まれたという話から、現在これ程活用されている技術でも、誰も興味を持たなかった時期があったと知り、基礎研究の意義を感じた。

バイオイメージングの世界

ヒトの味覚の仕組みに興味を持った。大脳皮質感覚野や扁桃体を上手く騙せれば、苦い薬もおいしいと感じさせることができるのか?なぜ酸味の味覚だけは衰えないのか?疑問に思った。

食と健康の科学

IP-U 修了生との交流会のお知らせ

日時: 9月19日(土)

15:30~17:00

申込み: C-Learning から申し込み

IP-U を修了した現役大学生から、進路選択や大学での研究、それぞれの大学生活について聞くことができるチャンスです。みなさんぜひご参加ください。詳しくはホームページをご覧ください。

編集後記

最近、地球表層(コロナ)のことばかり考えているので、少し地上を離れてみよう。台風が去って秋らしい高い雲が出てきたけれど、ヒツジ雲は上空5000mくらい。梅雨の雨雲はスカイツリーの先端を隠すくらいで、羽田から離陸するとあっという間にその上に出してしまうのと対照的。そう言えばヨーロッパの雲は低いような気がするのは、なぜだろう。いま見えている太陽は8分19秒前の太陽。超新星爆発するか話題になっているベテルギウスまでは642.5光年だから、足利義満とかアビニオン捕囚の頃の姿。遠くにあるようでも、我々と同じ天の川銀河の星なんだね。(大)